政治学入門Ⅰ

科目ナンバリング　POL-101
【V】　選択　2単位

柿﨑　明二

1. 授業の概要（ねらい）

政治は私たちの生活に強い影響力を持っています。私たちは自分の問題として政治に関わっていくことが必要です。担当教員は、政治記者として27年間、日本政治を取材し続けました。その後、転じて、内閣総理大臣補佐官を務めました。執筆記事、実体験も素材としたいと思います。国政の現状を材料に政治学の基礎を学びましょう。政治状況に応じて授業内容、順序を変えることがあります。

2. 授業の到達目標

①日本政治の現状を具体的に知る。
②現状を材料に基本的な理論を学ぶ。
③あるべき政治を考え、選挙などを通じて具体的に関わっていく。

3. 成績評価の方法および基準

最終日に行うレポート50%、節目の授業の際に行うレポート40%、授業での意見表明など10%。

4. 教科書・参考文献

参考文献
石川真澄、山口二郎　岩波新書「戦後政治史　第四版」　岩波書店

5. 準備学修の内容

各授業に次回までに予習しておく内容を伝えます。

6. その他履修上の注意事項

前回出席が前提になります。
授業中の私語は厳禁です。
政治学入門Ⅱも履修することが望ましいです。

7. 授業内容

【第1回】　授業の狙い、到達目標、成績評価について説明する
【第2回】　担当教員の転身について説明する
【第3回】　「政治とは何か」について考える
【第4回】　「与党」について学ぶ
【第5回】　「野党」について学ぶ
【第6回】　国政とメディアについて学ぶ
【第7回】　まとめと授業内レポート
【第8回】　直近の自民党総裁選はじめ党首選出について学ぶ
【第9回】　総裁選を軸に自民党の歴史について学ぶ
【第10回】　政党の派閥、グループについて学ぶ
【第11回】　「派閥政治」ついて学ぶ
【第12回】　「官邸支配」について学ぶ
【第13回】　「官邸支配」の要因について学ぶ
【第14回】　参院選を材料に国政選挙について学ぶ
【第15回】　全体まとめと授業内レポート